



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL http://www.fixstars.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	1,156	12.0	254	104.6	255	149.9	179	151.2
29年9月期第1四半期	1,032	△2.6	124	△31.4	102	△43.8	71	△44.7

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 186百万円 (99.8%) 29年9月期第1四半期 93百万円 (△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	27.01	26.94
29年9月期第1四半期	10.62	10.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第1四半期	2,745	2,295	83.4	345.26
29年9月期	2,817	2,274	80.6	342.23

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 2,289百万円 29年9月期 2,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	5.20	5.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行う予定であります。平成30年9月期の配当金額は、分割後の株数で算出しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の配当金額は26円00銭であります。

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,153	1.4	371	△3.1	370	2.7	245	△4.9	7.42
通期	4,600	3.4	880	5.4	877	7.9	590	5.8	17.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行う予定であります。平成30年9月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	6,712,000株	29年9月期	6,712,000株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	80,042株	29年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	6,631,982株	29年9月期1Q	6,712,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、中国をはじめとする新興国経済の先行きや、世界各国の今後の政策等に関する不確実性の影響については留意する必要があるものの、引き続き緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えて、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動運転関連を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、医療機器やFA機器向けの組込みソフトウェア案件及び金融分野やディープラーニングを対象とした高速化案件等を中心に継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が継続しております。加えて、FPGA向けIPコア提供サイト「Halide to FPGA」や、子会社の株式会社アイ・イー・テックが提供する、AIによるプロジェクト改善プラットフォーム「helmi」を通し、新たな収益モデルの確立に努めております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。大容量高速ストレージ・サーバ事業においては、イベント出展等の販売促進につとめ、産業分野や自動車分野等における導入に向けたカスタマイズ案件に取り組んでおります。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,156,022千円（前年同期比12.0%増）、営業利益254,956千円（前年同期比104.6%増）、経常利益255,084千円（前年同期比149.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益179,097千円（前年同期比151.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ソフトウェア・サービス)

ヘルスケア、産業機器及び車載分野では、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理等を実現するソリューションを提供しております。モバイル分野では、半導体メーカー向けのファームウェア開発を中心にサービスを提供しております。金融及びHPC分野では、リスク管理やスーパーコンピュータの性能評価等、シミュレーションの高速処理のためのソリューションを中心にサービスを提供しております。また、D-Wave Systems Inc.との協業を基軸とし、量子コンピュータの導入支援サービスを提供しております。

この結果、売上高は868,969千円（前年同期比31.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、213,902千円（前年同期比190.2%増）となりました。

(ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が長期継続中であり、また、大容量高速ストレージ・サーバのカスタマイズ品の製品開発案件や、ソフトウェア・サービスと組み合わせたトータルソリューション型案件に注力いたしました。

この結果、売上高は287,052千円（前年同期比22.6%減）、セグメント利益（営業利益）は、41,053千円（前年同期比19.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて72,052千円減少し、2,745,156千円となりました。これは、現金及び預金が97,864千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて92,312千円減少し、450,143千円となりました。これは、未払法人税等が91,236千円、賞与引当金が29,520千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて20,259千円増加し、2,295,013千円となりました。これは、利益剰余金が13,297千円、その他有価証券評価差額金が6,506千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の業績予想につきましては、平成29年11月10日付の「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,342,135	1,244,270
売掛金	870,231	874,974
電子記録債権	282,830	242,339
商品及び製品	56,813	55,091
仕掛品	5,609	18,882
繰延税金資産	62,562	48,026
その他	17,448	10,586
流動資産合計	2,637,630	2,494,171
固定資産		
有形固定資産	31,386	30,299
無形固定資産		
その他	19,448	17,502
無形固定資産合計	19,448	17,502
投資その他の資産		
投資有価証券	34,469	43,848
繰延税金資産	3,570	1,098
その他	90,704	158,237
投資その他の資産合計	128,743	203,183
固定資産合計	179,578	250,985
資産合計	2,817,209	2,745,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	142,417	130,632
未払法人税等	164,441	73,204
賞与引当金	56,348	26,828
事業整理損失引当金	28,887	27,586
その他	150,360	191,891
流動負債合計	542,455	450,143
負債合計	542,455	450,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	549,968	549,968
資本剰余金	455,968	455,968
利益剰余金	1,556,891	1,570,188
自己株式	△300,000	△300,182
株主資本合計	2,262,828	2,275,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,613	24,120
為替換算調整勘定	△10,786	△10,330
その他の包括利益累計額合計	6,827	13,789
新株予約権	385	385
非支配株主持分	4,713	4,896
純資産合計	2,274,753	2,295,013
負債純資産合計	2,817,209	2,745,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,032,271	1,156,022
売上原価	682,638	682,853
売上総利益	349,632	473,169
販売費及び一般管理費	225,006	218,212
営業利益	124,625	254,956
営業外収益		
受取配当金	688	365
未払配当金除斥益	—	426
助成金収入	—	250
その他	12	161
営業外収益合計	701	1,203
営業外費用		
支払利息	546	556
上場関連費用	19,674	—
為替差損	3,008	490
その他	40	28
営業外費用合計	23,270	1,075
経常利益	102,057	255,084
特別利益		
新株予約権戻入益	35	—
特別利益合計	35	—
税金等調整前四半期純利益	102,092	255,084
法人税、住民税及び事業税	10,636	61,569
法人税等調整額	20,149	14,123
法人税等合計	30,785	75,692
四半期純利益	71,306	179,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	294
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,297	179,097

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	71,306	179,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,708	6,506
為替換算調整勘定	19,271	455
その他の包括利益合計	21,979	6,962
四半期包括利益	93,286	186,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,277	186,059
非支配株主に係る四半期包括利益	9	294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	661,377	370,894	1,032,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	661,377	370,894	1,032,271
セグメント利益	73,720	50,905	124,625

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	868,969	287,052	1,156,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	868,969	287,052	1,156,022
セグメント利益	213,902	41,053	254,956

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

1. 子会社の設立

(1) 株式会社Fixstars Autonomous Technologiesの設立について

当社は平成30年1月15日開催の取締役会において株式会社ネクスティ エレクトロニクスとの合弁会社（子会社）の設立を決議いたしました。

①設立の目的

自動運転の実現が現実味を帯びる中、従来から自動車産業に携わる企業・研究機関はもちろんのこと、欧米のIT企業等も参入し、実現に向けた研究開発競争は日々熾烈さを増しています。このような環境下、当社のソフトウェア技術と株式会社ネクスティ エレクトロニクスの顧客基盤及びパートナー企業網を組み合わせ、自動運転の研究開発をさらに加速させるため、合弁会社（子会社）を設立することとなりました。

②子会社の概要

名称	株式会社Fixstars Autonomous Technologies
事業内容	ソフトウェア開発事業及びアプリケーションシステム開発事業
資本金	30,000千円
設立年月日	平成30年2月1日
出資比率	当社（66.6%）、株式会社ネクスティ エレクトロニクス（33.4%）

(2) 株式会社Fixstars Cloud Solutionsの設立について

当社は平成30年2月2日開催の取締役会において株式会社Fusicとの合弁会社（子会社）の設立を決議いたしました。

①設立の目的

ソフトウェア開発の大規模化と機械学習技術の進展を背景とし、従前より、オンプレミス環境を中心にAIを活用したプロジェクトマネジメントシステムを提供してまいりました。一方、クラウドを活用した多拠点・大規模な開発スタイルを採用する顧客企業も多く、オンプレミス環境だけではなく、クラウド環境上のマネジメントシステムへのニーズの高まりが見受けられるようになりました。このような環境下、当社のAI技術と株式会社Fusicのクラウド技術における知見を組み合わせ、プロジェクトマネジメントシステムをさらに進化させるため、合弁会社（子会社）を設立することとなりました。

②子会社の概要

名称	株式会社Fixstars Cloud Solutions
事業内容	クラウドを活用したソフトウェア開発プラットフォームの提供
資本金	30,000千円
設立年月日	平成30年2月9日（予定）
出資比率	当社（66.6%）、株式会社Fusic（33.4%）

2. 株式分割について

当社は、平成30年2月2日開催の取締役会において、平成30年4月1日付で株式分割を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

分割の方法

平成30年3月31日（土曜日）を基準日とし、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき5株の割合をもって分割いたします。

分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	6,712,000株
②株式分割により増加する株式総数	26,848,000株
③株式分割後の発行済株式総数	33,560,000株
④株式分割後の発行可能株式総数	100,000,000株

(3) 株式分割の効力発生日

平成30年4月1日（日曜日）

(4) 新株予約権の調整

今回の株式分割に伴い、平成30年4月1日の効力発生日と同時に新株予約権の目的となる1株当たりの行使価額を以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第6回新株予約権	500円	100円
第7回新株予約権	600円	120円
第8回新株予約権	3,280円	656円

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が、前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	2円12銭	5円40銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2円12銭	5円39銭